

パブリックコメントの結果公表

- ・政策等の名称

成田市污水適正処理構想（素案）

- ・意見等の募集期間

令和4年10月1日 から 令和4年10月31日

- ・意見等の件数

2件 （1人）

- ・担当課

下水道課（20-1553）

成田市污水適正処理構想（素案）について提出された意見と市の考え方

| 番号 | 提出された意見の概要 | 意見に対する市の考え方 |
|----|--|---|
| 1 | <p>第1章 污水適正処理構想について</p> <p>世界中が気候危機の時代になってしまいました。</p> <p>当然日本も影響があります。この気候危機で成田市の污水適正処理構想も変わってきます。</p> <p>即ち成田市の污水未処理地区は、気候変動による大雨の際、污水が流れ出し、河川に污水が流れ込み河川が一層汚染されてします。</p> <p>その為に河川整備を早急に進めなければ、気候危機に適応できなくなります。河川整備には多額の資金と整備期間がかかります。</p> <p>それと同時に、未処理地区では、合併浄化槽の整備が早急に必要となります。非課税世帯には補助金の割り増しやその他の世帯には、所得の割合で、補助金をこれまで以上に支出することになると考えます。</p> | <p>本構想は、市全域の污水处理施設の整備を効率的かつ効果的に進めていくために、それぞれの污水处理施設の特徴を活かした整備区域、整備目標を定め、污水处理施設の整備を進めようとするもので、気候危機や河川整備の検討をするものではございません。</p> <p>なお、未処理地区への合併処理浄化槽の整備促進を図るため、合併処理浄化槽設置整備事業補助金を交付しておりますが、当該補助金は国の要綱に基づいていることから、補助金の割り増しにつきましては、国の動向を注視してまいります。</p> |
| 2 | <p>第1章 污水適正処理構想について</p> <p>1-2 污水適正処理構想の基本方針</p> <p>構想に用いる人口</p> <p>各目標年度の総人口の考え方に問題があります。</p> | <p>本構想に用いた将来人口は、本構想第2章3-2に記載のとおり、上位計画である「流域別下水道整備総合計画」の値を基に設定しております。</p> <p>また、本市の上位計画である「第2期成田市まち・ひと・</p> |

| 番号 | 提出された意見の概要 | 意見に対する市の考え方 |
|----|---|--|
| | <p>即ち日本では人口減少が生じ、縮小時代に入っています。</p> <p>成田市だけ人口が増え続けるのは疑問です。</p> <p>2049年度とはGHG削減ゼロがほぼ達成しなくてはいけない年度です。</p> <p>人口の変動では、汚水適正処理構想の適正化に課題が残ります。</p> <p>従いましてこの見直し素案は全面的な見直しが必要と考えます。</p> | <p>しごと創生総合戦略」における将来人口推計とも整合を図っており、見直しの必要はないと考えております。</p> |